

呼吸器疾患患者の血清 IgE > 200 μg/mL、FP 2 型 IgE β2 阻害薬

4. 呼吸器疾患患者の血清 IgE > 200 μg/mL、FP 2 型 IgE β2 阻害薬
 5. 呼吸器疾患患者の血清 IgE > 200 μg/mL、FP 2 型 IgE β2 阻害薬
 5.1 呼吸器疾患患者の血清 IgE > 200 μg/mL、FP 2 型 IgE β2 阻害薬
 7. 呼吸器疾患患者の血清 IgE > 200 μg/mL、FP 2 型 IgE β2 阻害薬
 7.5 呼吸器疾患患者の血清 IgE > 200 μg/mL、FP 2 型 IgE β2 阻害薬

24時間血清 IgE 測定

PK 24時間血清 IgE 15.551 ng/mL (25 ng/mL^{0.5})

血清 IgE (ng/mL)	
n	95%CI
38	15.551 [13.844, 17.469]

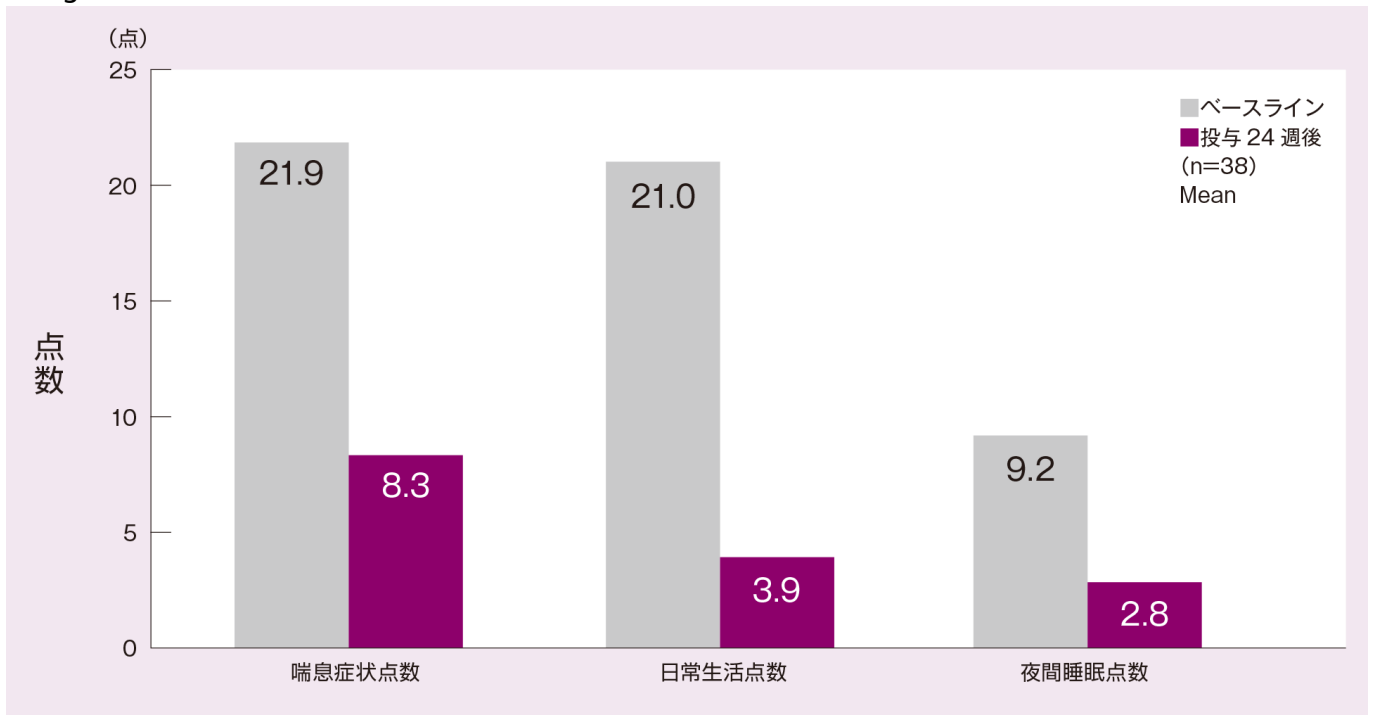
24時間血清 IgE 25 ng/mL

5 血清 IgE 25 ng/mL 10 IU/mL

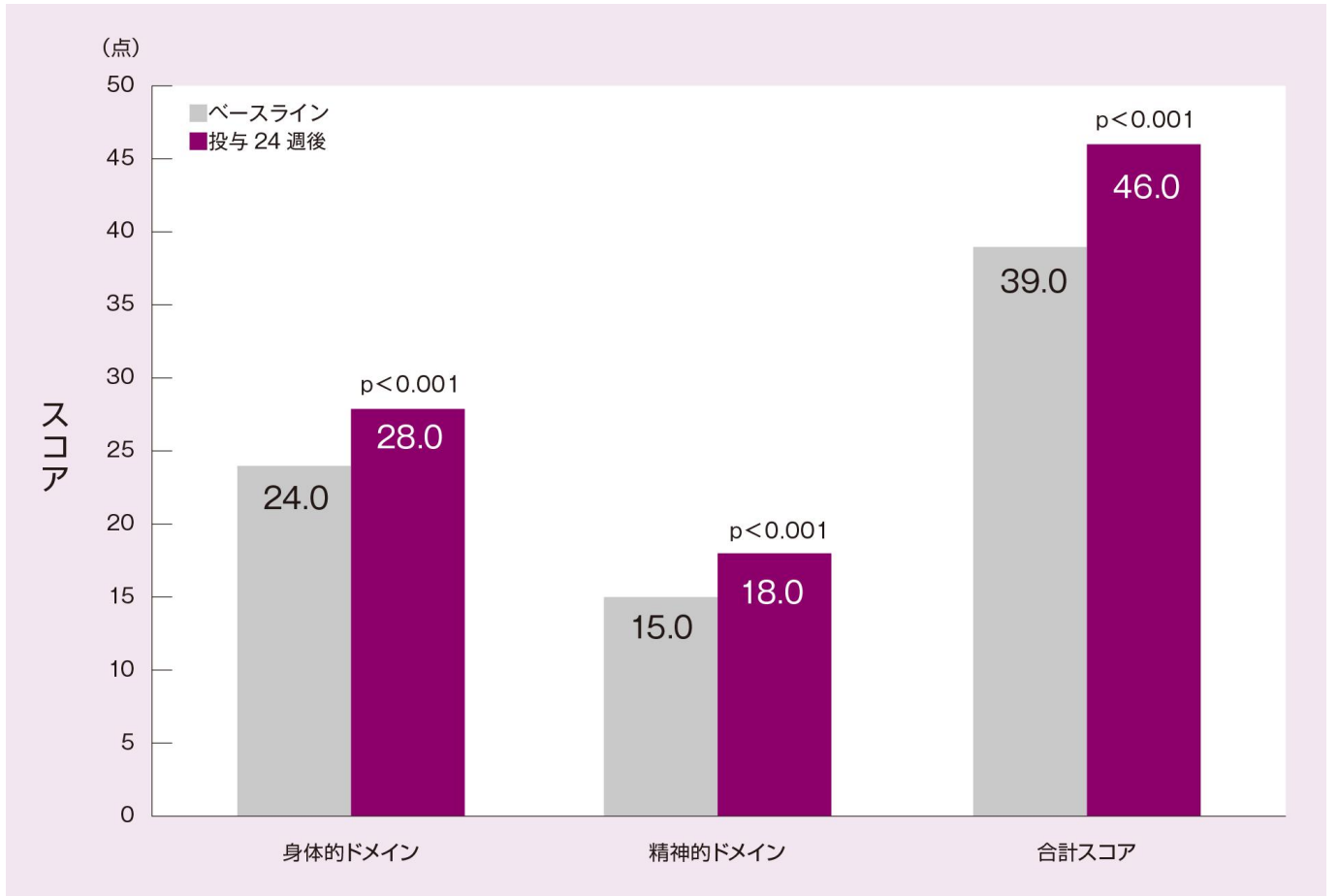
3 呼吸器疾患患者の血清 IgE > 200 μg/mL、FP 2 型 IgE β2 阻害薬

FAS 6 呼吸器疾患患者の血清 IgE > 200 μg/mL、FP 2 型 IgE β2 阻害薬

Image



6 呼吸器疾患患者の血清 IgE > 200 μg/mL、FP 2 型 IgE β2 阻害薬



Wilcoxon 検定 n=37 Median

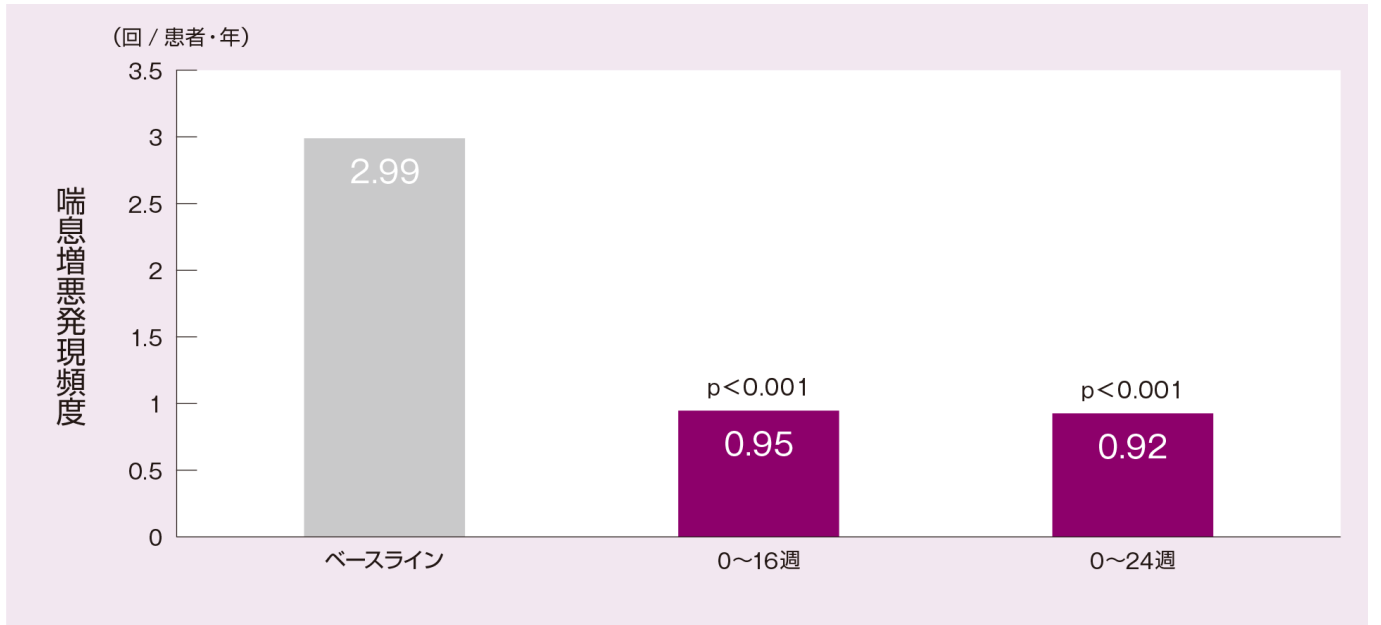
7 QOL

QOL 評価は、2008年 Gifu 県立病院にて実施された。10項目のQOLを1から5で評価し、5が最も良い状態を示す。本研究では、投与前と投与24週間後のQOLを比較した。

5項目⁸のQOL

FASは、投与前0.24、投与24週間後0.92と有意に改善された (p < 0.001, Wilcoxon検定)。

Image



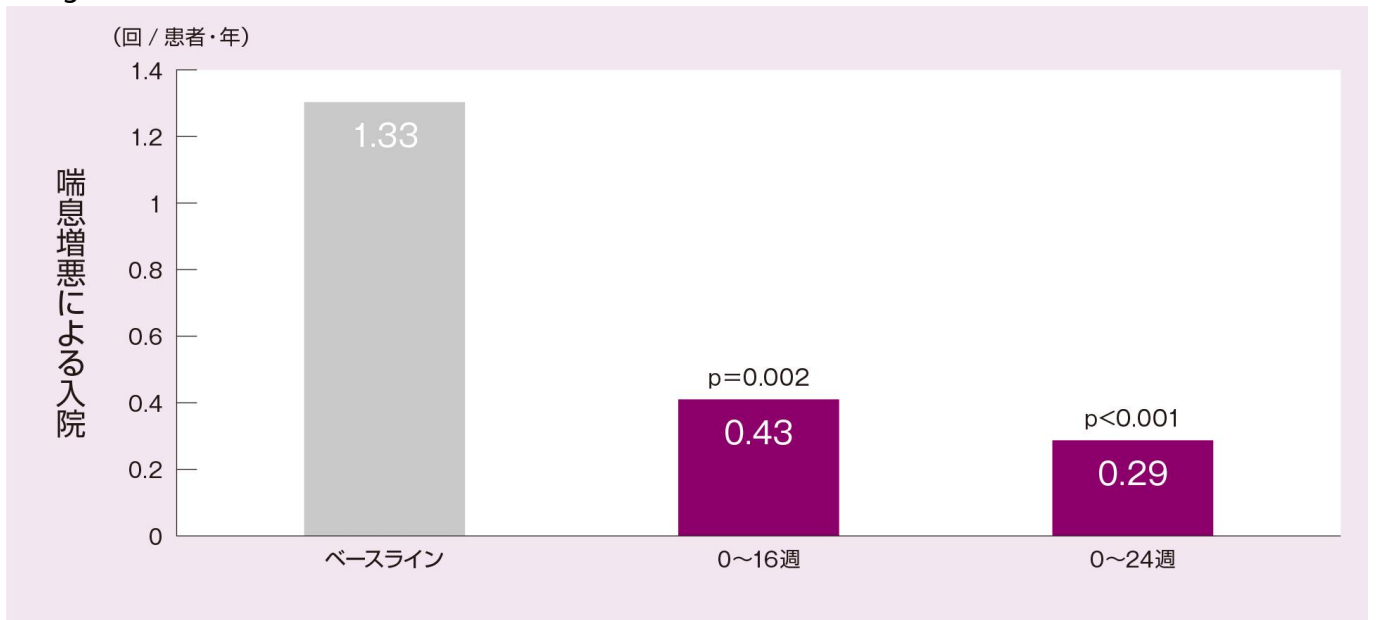
Wilcoxon 有意差あり (n=38)

8 喘息増悪発現頻度がベースラインに比べて0~16週 (p<0.001) および0~24週 (p<0.001) に有意に減少した。

6 喘息増悪による入院頻度がベースラインに比べて0~16週 (p=0.002) および0~24週 (p<0.001) に有意に減少した。

FASがベースラインに比べて0~24週に有意に減少した (0.29回/患者・年 vs 1.33回/患者・年, p<0.001, Wilcoxon)。

Image



Wilcoxon 有意差あり (n=38)

9 喘息増悪による入院頻度がベースラインに比べて0~16週 (p=0.002) および0~24週 (p<0.001) に有意に減少した。

7

26.3 10/38 4 10.5% 3 7.9% 2 5.3% 2 5.3%

1. 1301
2. IA05

PFS

IC

IC

IgE

IgE

Image



Source URL: https://prod.pro.novartis.com/jp-ja/products/xolair/asthma/clinical_child_01